

# ともに考えよう まちづくりミーティング

日時 平成30年7月14日(土) 14時00分から  
場所 森本市民センター 2階 会議室

本日は、お忙しい中をご参加いただき、誠にありがとうございます。  
進行は次のとおりですので、よろしくお願いいたします。

- 1 開会
- 2 市長あいさつ
- 3 地域代表あいさつ
- 4 進行の説明等
- 5 「地域課題」について意見交換
- 6 「共通課題」について意見交換
- 7 その他全体を通して意見交換
- 8 地域コミュニティ活性化事業のご案内
- 9 市長まとめ
- 10 閉会



## 提出課題一覧

### 1 地域課題

番号	地域課題	頁
1	歩行者の更なる安全を確保するための方策 (森本地区町会連合会)	P2 P3 P4
2	通学路に防犯カメラを設置 (花園地区町会連合会)	P6 P7 P8
3	更なる空き家対策の推進 (湖南地区町会連合会)	P10 P11

### 2 共通課題

「テーマ：地域の防災力向上のための地域コミュニティ活性化」

番号	共通課題	頁
1	防災士が活躍できる環境づくり	P12 P13

地域課題 1

町会連合会名	森本地区町会連合会
地域課題	歩行者の更なる安全を確保するための方策
課題の内容	<p>山側幹線の今町インターチェンジ退出路の早期新設は、これまで森本地区町会長全員協議会でも毎年要望事項にしてきたことで、ようやく国が設置工事に着手したところであります。</p> <p>退出路が完成することにより、車両の流れが変わり、住宅街の通行量の減少が期待されていますが、現在、山側幹線から内灘町や、かほく市へ向かう車両は、市道利屋・福久線や、市道福久・南森本線を利用することが多く、また、津幡方面からの車両は農道を通ることが多く、そこに至るために、北森本町、南森本町の住宅街を通り過ぎていきます。</p> <p>住宅街は、幅員が狭く、大型車両、自転車、歩行者が輻輳する際は危険であると考えています。また、子ども達の通学路と重なるので、通行量の増加は、事故を誘発する原因になりかねません。</p>
特に話し合いたい内容、聞きたい事項等	<p>地域での交通安全対策に取り組む上で課題となる今後の高齢化や人口減少を見据えた新たな応援体制や支援策についてお聞きしたい。</p>
課題について、地域での取り組み、特に市と協働で行う事業の提案・提言	<p>地域ボランティアの皆さまによる街頭交通推進隊やスクールサポート隊に支えられ、重大事故の防止に努めていますが、歩行者の更なる安全を確保するための方策について、市とともに考えていきたいと思っています。</p>

市の方針等説明書（地域課題 1）

<p>地域課題</p>	<p>歩行者の更なる安全を確保するための方策</p>
<p>提案・提言等</p>	<p>地域ボランティアの皆さまによる街頭交通推進隊やスクールサポート隊に支えられ、重大事故の防止に努めていますが、歩行者の更なる安全を確保するための方策について、市とともに考えていきたいと思えます。</p>
<p>市の方針等</p>	<p>市道の安全・安心を確保するための方策のひとつとして、これまでも学校・警察などと「通学路合同点検」を実施してきており、点検結果を踏まえ、必要箇所にカーブミラーや区画線の引き直しなどの対策を講じてきました。</p> <p>また、今年度、市道福久・南森本線の柳瀬川橋の下流側において、歩道拡張工事により通学児童の安全確保を行うこととしています。</p> <p>今後とも、地域の方々のご意見を伺いながら、関係機関と連携し、必要な安全対策を講じてまいります。</p>
<p>担当課</p>	<p>土木局 道路管理課      電話 220-2321</p>

市の方針等説明書（地域課題 1）

<p>地域課題</p>	<p>歩行者の更なる安全を確保するための方策</p>
<p>提案・提言等</p>	<p>地域ボランティアの皆さまによる街頭交通推進隊やスクールサポート隊に支えられ、重大事故の防止に努めていますが、歩行者の更なる安全を確保するための方策について、市とともに考えていきたいと思ひます。</p>
<p>市の方針等</p>	<p>地域の皆様には、日頃から交通安全の活動にご理解いただき、また、地域の交通安全活動を支えていただいていることに感謝申し上げます。</p> <p>とりわけ、金沢東街頭交通推進隊森本支隊では、現在18名の方が、交通安全活動にご協力いただいております、重ねて、日頃の活動に深く感謝申し上げます。</p> <p>本市では、4月から改正した「金沢市における自転車の安全な利用の促進に関する条例」を施行し、歩行者の安全確保の観点から、自転車は「車両」であることを改めて明記したほか、自転車損害賠償保険の加入を義務化するなど、交通安全の取り組みを進めているところであります。引き続き、条例の周知を図るとともに、地域に出向き、高齢者や幼児を対象とした交通安全教室、自転車シミュレータを利用した地域サイクルマナー教室などを開催してまいります。</p> <p>街頭交通推進隊をはじめ、市民の安全を支えていただいている団体の活動については、ご指摘の方策のため、交通事情の変化に応じた効果的な配置体制や意欲のある若い方々の入隊など、諸課題の解決に向けて、地域の皆様、また、金沢東警察署、金沢東交通安全協会とともに考え、できることから取り組んでいきたいと考えております。</p> <p>今後とも街頭交通推進隊の活動にご理解、ご協力いただきますようお願い申し上げます。</p>
<p>担当課</p>	<p>都市政策局 歩ける環境推進課                      電話 220-2371</p>



## 地域課題 2

町会連合会名	花園地区町会連合会
地域課題	通学路に防犯カメラを設置
課題の内容	<p>学校からの登下校時に、子どもが被害者となる深刻な事件が全国的に発生している中、金沢市においても、大きな事件の発生こそ聞いていないが、子どもへの声かけ、連れ去り未遂など、不審者に関する情報が後を絶たず、保護者をはじめ地域住民の不安感が高まっています。</p> <p>学校、保護者、子ども見守りボランティア等による、子どもの見守り活動にも限界があり、これを補完し、通学路における子ども達の更なる安全を確保するため、通学路に防犯カメラを設置したいと考えています。</p> <p>全国的には、伊丹市で1,000台のカメラを設置するなど、自治体が広範囲に防犯カメラを設置しているところもあり、東京都では、2014年度から都内の全ての小学校の通学路に防犯カメラを設置する事業を進めていると聞いています。</p>
特に話し合いたい内容、聞きたい事項等	<p>金沢市内各校下（地区）の防犯カメラの設置状況について、特に郊外の住宅、店舗等が少ない地域の状況をお聞きしたい。</p>
課題について、地域での取り組み、特に市と協働で行う事業の提案・提言	<p>花園地区は通学距離が長い地域もあり、通学路全域に防犯カメラを設置するには経費が過大になるおそれがあるため、防犯カメラの設置数を抑えるために、より効果的な設置箇所を助言いただきたい。</p> <p>地域としては、必要に応じた台数の防犯カメラを設置したいと考えているが、地域で負担できる経費は限られているため、金沢市においては、防犯カメラを設置する町会等への補助制度を拡充し、上限額の引き上げ等を検討していただきたい。</p>

市の方針等説明書（地域課題 2）

地域課題	通学路に防犯カメラを設置
提案・提言等	<p>全国的には、伊丹市で1,000台のカメラを設置するなど、自治体が広範囲に防犯カメラを設置しているところもあり、東京都では、2014年度から都内の全ての小学校の通学路に防犯カメラを設置する事業を進めていると聞いています。</p>
市の方針等	<p>市内にどれだけの防犯カメラが設置されているか全体を把握しているわけではありませんが、金融機関、コンビニエンスストア等の民間施設が設置している防犯カメラが多数あることは存じ上げています。</p> <p>防犯カメラの設置は、他人のプライバシーの侵害により、争いの原因となる恐れがあるため、道路管理者としては、JR、IR駅の広場、通路など、管理上必要な施設に限定して設置しているほか、片町周辺等繁華街においては、警察の設置する防犯カメラに道路占用許可を行っております。</p> <p>市としては、防犯カメラによる犯罪抑止効果については、十分認識しており、校下・地区、商店街等、地元からの要望に対しては、警察と連携し、設置費に対する補助制度をご利用いただいています。</p> <p>設置希望箇所があれば、個別にご相談をお願いします。</p> <p><b>【参考】</b></p> <p>(1) 市（道路管理者）が設置          金沢駅東・駅西広場、森本駅・東金沢駅・西金沢駅自由通路、          武蔵西横断・香林坊・武蔵町・武蔵ヶ辻・鱗町横断・押野地下道</p> <p>(2) 県警が道路管理者の占用許可を得て設置          片町1丁目、広坂1丁目、里見町、油車町、茨木町</p> <p>(3) 市の補助制度により地元団体が設置（道路外）</p> <p>① 生活安全推進事業費補助（危機管理課）          内容 地域ぐるみの防犯・防災等のコミュニティ活動          対象 校下・地区連合町会（防犯カメラ…補助率75%、限度額200千円）</p> <p>② 商店街共同施設設置費補助事業（商工業振興課）          対象 商店街（非収益施設…補助率35%、限度額150,000千円）</p>
担当課	土木局 道路管理課      電話 220-2321

市の方針等説明書（地域課題 2）

地域課題	通学路に防犯カメラを設置																				
提案・提言等	<p>花園地区は通学距離が長い地域もあり、通学路全域に防犯カメラを設置するには経費が過大になるおそれがあるため、防犯カメラの設置数を抑えるために、より効果的な設置箇所を助言いただきたい。</p> <p>地域としては、必要に応じた台数の防犯カメラを設置したいと考えているが、地域で負担できる経費は限られているため、金沢市においては、防犯カメラを設置する町会等への補助制度を拡充し、上限額の引き上げ等を検討していただきたい。</p>																				
市の方針等	<p>金沢市では生活安全推進事業補助として、地域における不安・危険・脅威等の事象に対して、地域ぐるみで防犯・防災等のコミュニティ活動を実施する場合の経費に対し、校下・地区連合町会に助成を実施しています。</p> <p>防犯カメラ設置に対しても、20万円を上限に、全事業費の75%が補助の対象となるので活用いただきたいと考えています。</p> <p>なお、その際の設置主体は町会連合会（町会単位ではなく）等の地域の団体となりますので、設置計画から設置後の管理、運営まで地元で責任をもって実施していただくこととなります。</p> <p>また、防犯カメラの設置箇所は、犯罪等が起きている場所や、地域で不安に思われている箇所等が考えられますが、個人のプライバシー保護の観点から、地元住民の総意を前提とするため、補助申請の条件として管理運営規程の策定や、地元警察署長の意見書の提出などを求めていることから、設置にあたっては慎重に審議いただくようお願い申し上げます。</p> <p>この補助事業に対し、今年度までに5校下・地区にて実施しています。</p> <p><b>【参考：実績】</b></p> <table border="0"> <tr> <td>・平成26年度</td> <td>田上校下町会連合会</td> <td>20万円</td> <td>カメラ2台</td> </tr> <tr> <td>・平成28年度</td> <td>芳齋地区町会連合会</td> <td>16万円</td> <td>カメラ1台</td> </tr> <tr> <td>・平成29年度</td> <td>浅野町校下町会連合会</td> <td>20万円</td> <td>カメラ1台</td> </tr> <tr> <td></td> <td>戸板校下町会連合会</td> <td>20万円</td> <td>カメラ5台</td> </tr> <tr> <td>・平成30年度</td> <td>弥生町会連合会</td> <td>20万円</td> <td>カメラ3台</td> </tr> </table>	・平成26年度	田上校下町会連合会	20万円	カメラ2台	・平成28年度	芳齋地区町会連合会	16万円	カメラ1台	・平成29年度	浅野町校下町会連合会	20万円	カメラ1台		戸板校下町会連合会	20万円	カメラ5台	・平成30年度	弥生町会連合会	20万円	カメラ3台
・平成26年度	田上校下町会連合会	20万円	カメラ2台																		
・平成28年度	芳齋地区町会連合会	16万円	カメラ1台																		
・平成29年度	浅野町校下町会連合会	20万円	カメラ1台																		
	戸板校下町会連合会	20万円	カメラ5台																		
・平成30年度	弥生町会連合会	20万円	カメラ3台																		
担当課	危機管理監 危機管理課 電話 220-2366																				



地域課題 3

町会連合会名	湖南地区町会連合会
地域課題	更なる空き家対策の推進
課題の内容	<p>少子高齢化や核家族化がさらに進行している近年、これらも一因となって、空洞化が進んでいるのは、金沢の都心部のみならず、湖南地区にある昔からの集落においても、若者の巣立ちや、高齢者の老人施設への入所、その他の事情等によって住人が減少し、空き家が目立つようになってきている。</p> <p>空き家は、長期間放置されると、屋根や外壁が壊れたり、草木が伸び放題になり、ねずみなどの害獣や害虫の温床、また、不審者の侵入や放火などの犯罪をまねきかねないなど、様々な課題を抱えているため、早急な対応が必要であると考えている。</p>
特に話し合いたい内容、聞きたい事項等	<p>空き家対策は、金沢市内の多くの校下（地区）においても、大変苦慮している課題であるので、空き家対応に人手を割いて対応する町会等にはインセンティブを与え、空き家所有者等には放置によるデメリットを意識づけするような施策をより推進していただきたい。</p>
課題について、地域での取り組み、特に市と協働で行う事業の提案・提言	<p>地域においては、日々の町会業務に忙殺されながらも、空き家情報の把握に努め、注意深く見守りを続けなければならないのが、大きな負担となっている。</p> <p>市においては、空き家化の予防策として、所有者等への啓発に努めることは、もちろん、適正な管理がされていない空き家には、住宅用地の特例適用をなくすとともに、更に大幅な増税を課す等、空き家を放置することのデメリットを強調するような施策を推進していただきたい。</p>

市の方針等説明書（地域課題 3）

地域課題	更なる空き家対策の推進
提案・提言等	<p>市においては、空き家化の予防策として、所有者等への啓発に努めることは、もちろん、適正な管理がされていない空き家には、住宅用地の特例適用をなくすとともに、更に大幅な増税を課す等、空き家を放置することのデメリットを強調するような施策を推進していただきたい。</p>
市の方針等	<p>空家等対策の推進に関する特別措置法では、そのまま放置すれば倒壊等著しく保安上危険となるおそれのある状態又は著しく衛生上有害となるおそれのある状態、適切な管理が行われていないことにより著しく景観を損なっている状態その他周辺の生活環境の保全を図るために放置することが不適切である状態にあると認められる空き家等を「特定空家等」と定義されています。</p> <p>特定空家に認定されれば、市が所有者に対し「助言又は指導」を行い、改善されなかった場合に「勧告」を行います。その際に、固定資産税の住宅用地の特例の適用はなくなります。</p> <p>空き家の管理は、一義的には所有者の責任で行われるべきものであり、できる限り所有者による自主的な改善が図られることが望ましいことから、本市では、まずは所有者に粘り強く管理の指導を行っており、今のところ、特定空家の認定はしていません。</p> <p>また、地域の課題となっている危険な空き家については、所有者等に対し解体等の支援制度を設け、活用された地域では課題の解決につながっています。</p> <p>湖南地区におきましたは、これまで空き家に関する相談が4件あり、うち1件が特定空家相当の案件です。この案件は所有者が行方不明であるため、現在、金沢家庭裁判所から不在者財産管理人の選任を受け、年内中の改善に向けて作業を進めています。</p>
担当課	<p>都市整備局 住宅政策課      電話 220-2136</p>

共通課題 1

<p>テーマ</p>	<p>地域の防災力向上のための地域コミュニティ活性化</p>
<p>共通課題</p>	<p>防災士が活躍できる環境づくり</p>
<p>意見、質問の内容</p>	<p>近年、全国的に大雨や地震などの自然災害が頻発し、本市においても、いつ大きな災害が発生しても不思議ではない状況であり、地域の防災力向上が喫緊の課題となっている。</p> <p>市においては、地域の防災リーダー育成のために、防災士の資格取得者の倍増を検討していると聞いており、地域においても、防災士を中心とした自主防災組織が更なる地域防災力の向上に取り組んでいるところである。</p> <p>その一方で、防災士からは、防災士資格取得のためのカリキュラムや、その後の研修等だけでは、いざ有事の際に、地域の防災リーダーとして、災害対応に取り組んでいく自信もなく、また、地域住民から協力を得られるようリーダーシップを発揮できるか不安であるという話を聞いたこともある。</p> <p>市においては、防災士の数を増やすばかりではなく、有事の際に、防災士が自信を持って行動できるよう、防災士ひとり一人のフォローアップをより充実させるとともに、防災士の重要性、必要性をもっとアピールしていただき、防災士が誇りをもって活動することができる環境づくりを推進していただきたい。</p>

市の方針等説明書（共通課題 1）

共通課題	防災士が活躍できる環境づくり
意見・質問等	<p>市においては、防災士の数を増やすばかりではなく、有事の際に、防災士が自信を持って行動できるよう、防災士ひとり一人のフォローアップをより充実させるとともに、防災士の重要性、必要性をもっとアピールしていただき、防災士が誇りをもって活動することができる環境づくりを推進していただきたい。</p>
市の方針等	<p>当市では、地域に密着した防災士を「コミュニティ防災士」と位置づけ、防災研修会の開催、各種訓練への参加・協力、防災に関する普及啓発及び避難誘導等の先導となって活動していただくことを期待しています。</p> <p>防災士は、身につけるべき知識や技術は多岐多様であり、日々、向上心を持って、スキルアップに努めていただくことが必要であり、金沢市では、フォローアップ体制の充実を図っていきたいと考えています。</p> <p>その一環として、これまで開催してきた各種の研修会に加え、今年度は、より高度な防災知識の学習の場を提供しています。</p> <p>また、防災士同士が交流を通じて、刺激し合うことで意識向上を図り、ひいては地域の防災力向上を図ることを期待し、ワークショップの実施等により、防災士同士のコミュニケーションの場を提供するとともに、広域的な連携も見据え、今年度からは、津幡町、内灘町等の近隣3市2町の防災士に参加してもらうこととしました。</p> <p>防災士が地域で活躍できる環境づくりを推進すべく、地域におきましても、自主防災組織と防災士との連携強化及び活動の場を作り上げるなど、防災士の意識と資質の向上にご協力いただきたいと思ひます。</p>
担当課	<p>危機管理監 危機管理課                      電話 220-2366</p>

